

科目名		コミュニティ看護学演習Ⅱ	
科目責任者	野元 由美	(広域・発達看護学 講師)	
担当者	仲野 宏子	(産業・地域看護学 准教授)	
	丸山 泰子	(広域・発達看護学 講師))	
開講時期: 2年次通年		単位数: 2 単位	時間数: 90分× 15 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) コミュニティで生活する乳幼児から高齢者までの人々の健康課題を明確化し、在宅看護学の理論や方法論を活用した支援方法を学ぶ。また、先駆的な活動に関する文献をクリティークし、それらを活用しながら、在宅看護学を基盤としたコミュニティに着目した健康課題をフィールドワークを通して、探求できる。 行動目標 (SBOs) 1) コミュニティで生活する個人・家族を取り巻く健康課題が説明できる。 2) 個人のケア理論と方法論が説明できる。 3) 在宅看護に活用できる理論と方法論が説明できる。 4) 在宅看護過程の特徴を踏まえて展開できる。 5) 家族理論を活用した支援の展開が説明できる。 6) 在宅看護の質の評価とリスクアセスメントが説明できる。 7) ケアマネジメント理論とプロセスが説明できる。 8) 関係職種とのネットワークとケアシステムの構築について説明できる。 9) 在宅看護活動に関する文献検討方法ができる。 10) 在宅看護を基盤とした研究論文を読みクリティークできる。 11) 在宅看護を基盤とした健康課題を研究に発展できる。			
● 評価方法	レポート 60%、フィールドワーク状況(プレゼンテーション含む) 30%、ディスカッション 10%を総合的に評価する。		
● 参考文献	別途指示		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ガイダンス	授業計画及び内容に関するガイダンス	野元
2	コミュニティにおける健康課題	コミュニティで生活する個人・家族を取り巻く健康課題	野元
3	個人のケア理論と方法論	セルフケア理論と保健行動モデルと支援方法	仲野
4	地域・在宅看護の理論と方法論	在宅看護に活用できる理論と方法論	野元
5	地域・在宅看護の質の評価	在宅看護の質の評価とリスクアセスメント	野元
6	ケアマネジメント理論	ケアマネジメント理論とプロセス	仲野
7	ケアマネジメントの方法論	関係職種とのネットワークとケアシステムの構築	丸山
8	コミュニティ活動に関する文献検討方法	コミュニティ活動を基盤とした地域・在宅看護に関する文献検討方法	野元
9	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践における研究方法の検討と開発	野元
10	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践の場におけるフィールドワーク計画	野元・仲野
11	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践の場におけるフィールドワーク	野元・丸山
12	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践の場におけるフィールドワーク	野元・丸山
13	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践の場におけるフィールドワーク	野元・丸山
14	地域・在宅看護実践研究の開発	地域・在宅看護実践の場におけるフィールドワーク発表、ディスカッション	野元・仲野・丸山
15	地域・在宅看護実践研究の開発	フィールドワーク まとめ	野元